

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成26年11月7日

**【四半期会計期間】** 第87期第2四半期(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

**【会社名】** フジオーゼックス株式会社

**【英訳名】** FUJI 00ZX Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 深谷研悟

**【本店の所在の場所】** 静岡県菊川市三沢1500番地の60

**【電話番号】** (0537)35-5873

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 生地志朗

**【最寄りの連絡場所】** 静岡県菊川市三沢1500番地の60

**【電話番号】** (0537)35-5873

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 生地志朗

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第86期 第2四半期 連結累計期間	第87期 第2四半期 連結累計期間	第86期
会計期間		自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高	(千円)	7,822,890	8,264,778	16,299,304
経常利益	(千円)	863,440	792,563	1,907,865
四半期(当期)純利益	(千円)	704,842	509,468	1,387,881
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	971,717	389,772	1,894,419
純資産額	(千円)	21,583,027	23,042,826	22,746,219
総資産額	(千円)	24,799,444	26,867,287	25,841,910
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	34.30	24.80	67.55
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	86.2	83.1	85.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	225,139	821,358	1,163,166
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	70,966	1,078,452	1,799,690
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	102,905	104,652	223,156
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	9,286,893	8,532,507	8,779,957

回次		第86期 第2四半期 連結会計期間	第87期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	19.39	13.52

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業集団において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

技術供与契約(提出会社)

提携先	国籍	契約品目	契約の内容	契約期間	対価の算定
新韓バルブ工業株式会社	韓国	エンジンバルブ	製造、販売の独占的実施権の許諾	自平成26年9月29日 至平成27年9月28日	契約品目の純売上高につき一定の比率
富士気門(広東)有限公司	中国	エンジンバルブ、コッタ、リテーナ	製造、販売、使用の非独占的実施権の許諾	自平成26年9月30日 至平成29年9月29日	契約品目の純売上高につき一定の比率

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の消費は緩やかな回復基調にありましたが、欧州の経済は当面低成長が続くとみられます。また、新興国の景気は下振れリスクは継続して存在しており、不透明な状況です。

一方、国内経済は政府による金融政策の効果などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの事業の中心である自動車部品につきましては、北米向け売上の増加や中空弁の需要増加により売り上げは堅調に推移したものの、国内は消費税率引き上げに伴う景気の減速等により不透明な状況が続きました。

このような市場環境の中で当社グループは、生産性の向上や原価改善並びに経費削減に努めてまいりましたが、中空弁の生産拡大対応を目的とした投資によるコストが増加いたしました。

これにより、売上高は8,265百万円(前年同期比442百万円増)、営業利益は636百万円(前年同期比63百万円増)、経常利益は793百万円(前年同期比71百万円減)、四半期純利益は509百万円(前年同期比195百万円減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

自動車部品製造

主力のエンジンバルブを含む当セグメントは、海外につきましては北米向け輸出が増加しました。また、国内は中空弁の需要増加に伴い、売上高は7,959百万円（前年同期比519百万円増）、セグメント利益（営業利益）は580百万円（前年同期比58百万円増）となりました。

流通

当セグメントにおきましては、一部不採算事業の撤退により、売上高は306百万円（前年同期比77百万円減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同期比9百万円増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は26,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,025百万円増加しております。

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は14,997百万円と前連結会計年度末に比べ15百万円増加しております。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は11,871百万円と前連結会計年度末に比べ1,011百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・設備投資を実施した結果、有形固定資産が957百万円増加しております。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は3,589百万円と前連結会計年度末に比べ706百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・支払手形及び買掛金が161百万円増加しております。
- ・流動負債（その他）に含まれる未払金が483百万円増加しております。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は235百万円と前連結会計年度末に比べ22百万円増加しております。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は23,043百万円と前連結会計年度末に比べ297百万円増加しております。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」と言う。）は、前連結会計年度末に比べ247百万円減少し、8,533百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、821百万円（前年同期比264.8%増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益751百万円、減価償却費431百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加137百万円、たな卸資産の増加230百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,078百万円（前年同期比1,419.7%増）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,072百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は105百万円（前年同期比1.7%増）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は79百万円であります。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループの事業の中心である自動車部品は、世界の自動車業界の主要市場は成長が期待されるものの、日本では消費税率引き上げによる景気の減速と顧客の自動車部品の海外での調達化の進展に伴う輸出の減少が継続することにより、厳しい事業環境が予想されます。

このような状況の中、当社グループではグローバル化への対応として、中国子会社である富士気門(広東)有限公司の能力増強を図るとともに、インドネシア共和国西ジャワ州に設立したPT. FUJI 00ZX INDONESIA の稼働準備を進めており、アジア地域の顧客要求への対応を予定しております。加えて、新たな海外拠点としてメキシコ中部のグアナファト州にエンジンバルブの製造・販売を手掛けるFUJI 00ZX MEXICO, S.A. DE C.V. を設立し、グループとしての収益増加と財務状況の改善をさらに進めてまいります。

国内ではものづくりにおけるマザー工場として、中国・インドネシア・メキシコの4極一体経営による経営基盤の強化や、原価低減活動による利益の確保、海外では顧客のグローバル展開への対応等を推進してまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,559,500	20,559,500	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	20,559,500	20,559,500	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日 ~ 平成26年9月30日		20,559,500		3,018,648		2,769,453

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
大同特殊鋼株式会社	名古屋市東区東桜1丁目1-10	9,339	45.42
大同興業株式会社	名古屋市東区東桜1丁目1-10	1,083	5.26
ジェイアンドエス保険サービス株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-14	655	3.18
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	642	3.12
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人:シティバンク銀行株式会社)	BAHNHOFSTRASSE 45, 8001 ZURICH, SWITZERLAND (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	462	2.24
フジオーゼックス取引先持株会	静岡県菊川市三沢1500-60	451	2.19
ティーアールダブリュ オートモーティブ・ジェーヴィー・ エルエルシー (常任代理人:南広仁)	1900 RICHMOND ROAD CLEVELAND, OHIO 44124. U.S.A. (横浜市中区新山下町1丁目16-5)	413	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	241	1.17
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL(常 任代理人:ゴールドマン・サックス 証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB. UK (東京都港区六本木6丁目10番1号六本木ヒルズ 森タワー)	213	1.03
CREDIT SUISSE AG ZURICH FOR AIR FUNDS (常任代理人:(株)三菱東京UFJ銀 行)	UETLIBERGSTRASSE 231 P.O.BOX 600 CH-8070 ZURICH SWITZERLAND (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	192	0.93
計		13,692	66.60

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,532,000	20,532	-
単元未満株式	普通株式 14,500	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,559,500	-	-
総株主の議決権	-	20,532	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式92株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市三沢 1500番地の60	13,000	-	13,000	0.0
計	-	13,000	-	13,000	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,063,197	6,970,621
受取手形及び売掛金	4,093,515	4,206,024
商品及び製品	564,504	670,935
仕掛品	547,570	633,657
原材料及び貯蔵品	672,761	698,636
その他	2,046,364	1,822,738
貸倒引当金	6,000	6,000
流動資産合計	14,981,912	14,996,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,865,362	2,880,134
機械装置及び運搬具（純額）	2,272,625	2,976,572
土地	2,809,929	2,798,734
その他（純額）	1,210,041	1,459,496
有形固定資産合計	9,157,957	10,114,937
無形固定資産		
のれん	5,646	4,777
その他	44,734	57,117
無形固定資産合計	50,380	61,894
投資その他の資産		
その他	1,678,661	1,721,044
貸倒引当金	27,000	27,200
投資その他の資産合計	1,651,661	1,693,844
固定資産合計	10,859,998	11,870,675
資産合計	25,841,910	26,867,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,642,138	1,803,392
未払法人税等	165,381	189,539
賞与引当金	53,885	44,811
役員賞与引当金	42,600	-
その他	978,856	1,551,542
流動負債合計	2,882,859	3,589,284
固定負債		
役員退職慰労引当金	3,350	350
環境対策引当金	24,499	24,499
退職給付に係る負債	39,762	37,060
その他	145,221	173,268
固定負債合計	212,832	235,177
負債合計	3,095,691	3,824,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	16,412,884	16,829,321
自己株式	6,361	6,496
株主資本合計	22,194,623	22,610,925
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	67,923	204,872
退職給付に係る調整累計額	86,853	83,162
その他の包括利益累計額合計	154,776	288,034
少数株主持分	706,372	719,935
純資産合計	22,746,219	23,042,826
負債純資産合計	25,841,910	26,867,287

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,822,890	8,264,778
売上原価	6,195,214	6,557,252
売上総利益	1,627,676	1,707,526
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	334,504	365,211
賞与引当金繰入額	9,197	5,964
退職給付費用	22,533	24,140
その他	688,296	676,254
販売費及び一般管理費合計	1,054,530	1,071,569
営業利益	573,147	635,957
営業外収益		
受取利息	1,870	32,037
受取配当金	840	1,260
持分法による投資利益	140,424	145,639
為替差益	141,218	-
その他	44,666	22,466
営業外収益合計	329,017	201,402
営業外費用		
支払利息	-	631
固定資産除却損	19,160	7,942
為替差損	-	30,598
賃貸収入原価	11,984	-
その他	7,581	5,625
営業外費用合計	38,724	44,796
経常利益	863,440	792,563
特別利益		
固定資産売却益	255,551	-
特別利益合計	255,551	-
特別損失		
事業整理損	-	41,394
特別損失合計	-	41,394
税金等調整前四半期純利益	1,118,991	751,169
法人税、住民税及び事業税	193,500	211,150
法人税等調整額	198,409	18,025
法人税等合計	391,909	229,175
少数株主損益調整前四半期純利益	727,082	521,995
少数株主利益	22,240	12,527
四半期純利益	704,842	509,468

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	727,082	521,995
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	86,163	4,143
退職給付に係る調整額	-	3,691
持分法適用会社に対する持分相当額	158,471	140,056
その他の包括利益合計	244,635	132,223
四半期包括利益	971,717	389,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	927,951	376,209
少数株主に係る四半期包括利益	43,766	13,563

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,118,991	751,169
減価償却費	289,820	430,803
のれん償却額	869	869
貸倒引当金の増減額(は減少)	700	200
賞与引当金の増減額(は減少)	26,796	8,710
役員賞与引当金の増減額(は減少)	37,350	42,600
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,842	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	2,702
前払年金費用の増減額(は増加)	589	-
退職給付に係る資産の増減額(は減少)	-	7,219
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	425	3,000
固定資産売却損益(は益)	255,551	-
受取利息及び受取配当金	2,710	33,297
支払利息	-	631
持分法による投資損益(は益)	140,424	145,639
有形固定資産処分損益(は益)	20,171	41,610
売上債権の増減額(は増加)	17,501	136,865
たな卸資産の増減額(は増加)	154,196	230,457
仕入債務の増減額(は減少)	16,621	172,286
その他	138,756	176,601
小計	762,911	963,681
利息及び配当金の受取額	3,902	33,167
利息の支払額	-	631
法人税等の支払額	541,674	174,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,139	821,358
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	328,724	1,071,577
有形固定資産の売却による収入	300,083	-
無形固定資産の取得による支出	14,064	17,580
敷金及び保証金の差入による支出	19,775	2,217
その他	8,486	12,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,966	1,078,452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	166	134
配当金の支払額	102,739	102,734
リース債務の返済による支出	-	1,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,905	104,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,900	114,296
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	21,632	247,450
現金及び現金同等物の期首残高	9,308,525	8,779,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,286,893	8,532,507

【注記事項】

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が14,888千円増加し、利益剰余金が9,702千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ841千円増加しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

関連会社の借入金に対して、下記のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)	
TRW Fuji Valve Inc.	120,863千円 ( 1,174千ドル)	TRW Fuji Valve Inc.	104,342千円 ( 953千ドル)

2. 偶発債務

当社は、以下のとおり、平成26年4月3日(現地時間)付で、米国テネシー州連邦裁判所において訴訟(以下「本件訴訟」といいます)を提起され、当社は平成26年8月18日に本件訴訟に関する送達を受けました。

(1) 訴訟の原因、及び訴えを提起されるに至った経緯

原告は、当社との間で締結したジョイントベンチャー契約(以下「本件契約」といいます)において、当社の北米における販売活動等が制限されていたにもかかわらず、当社がメキシコに子会社を設立する計画を発表したことが契約違反であるとして、当社に対して訴訟を提起しました。訴え提起後も話し合いによる解決を模索して参りましたが合意に至らず、送達を受けました。

(2) 訴訟を提起した者の概要

名称 TRW Automotive J.V.LLC

所在地 12001 Tech Center Drive Livonia, MI 48150, US

(3) 訴訟の内容、及び損害賠償金額

原告は本件訴訟において、契約違反を理由に損害賠償請求、本件契約を遵守する旨の特定履行請求、及び本件契約上の債務の履行義務があることの確認等を求める請求をしております。なお訴状には、請求金額の記載はありません。

(4) 今後の見通し

今後、訴状の内容を精査した上で、法的手続に則り適切に対処していく所存です。

なお、現時点では、本件訴訟が当社の業績に与える影響を見積もることは困難であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金	7,736,180千円	6,970,621千円
流動資産 その他(関係会社預け金)	1,550,713千円	1,561,886千円
現金及び現金同等物	9,286,893千円	8,532,507千円



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	102,739	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月28日 取締役会	普通株式	102,737	5.00	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	102,734	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月29日 取締役会	普通株式	102,732	5.00	平成26年9月30日	平成26年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	7,440,054	382,836	7,822,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,776	265,348	269,124
計	7,443,830	648,184	8,092,014
セグメント利益又は損失( )	521,204	6,341	514,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該

差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	514,863
セグメント間取引消去	58,284
四半期連結損益計算書の営業利益	573,147

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	7,959,246	305,532	8,264,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,524	307,143	308,668
計	7,960,770	612,675	8,573,446
セグメント利益	579,512	2,264	581,776

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該

差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	581,776
セグメント間取引消去	54,182
四半期連結損益計算書の営業利益	635,957

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円30銭	24円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	704,842	509,468
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	704,842	509,468
普通株式の期中平均株式数(株)	20,547,489	20,546,497

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

1. 剰余金の配当

平成26年10月29日開催の取締役会において、第87期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当総額 102,732千円
- (2) 1株当たり中間配当金額 5円00銭
- (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成26年12月2日

(注) 平成26年9月30日現在の株主名簿に記録または記録された株主に対し、支払を行います。

2. 重要な訴訟事件等

「注記事項 四半期連結貸借対照表関係 2.偶発債務」に記載のとおりであります。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月30日

フジオーゼックス株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 今泉誠 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 城卓男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジオーゼックス株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジオーゼックス株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。